

競技規則

1. ゴルフ規則

2023年日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびSpeeder Challenge大会ルールを適用する。競技規定に変更もしくは追加がある時は、競技委員会より、開催当日のスタート前に全選手へ告知する。

2. シングルス競技部門

クラブと球

a 適合ドライバーヘッドリスト：MLR G-1 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

b 溝とパンチマークの規格：MLR G-2 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

c 公認球リスト：MLR G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

d ワンボールルール：MLRG-4 を適用する。

※ MLR(モデルローカルルール)はJGAゴルフ規則のオフィシャルガイド参照。

3. ダブルス競技部門

ダブルス競技部門はSpeeder Challenge大会ルールおよび下記の競技の条件を適用する。

1. 使用クラブ：「SLEルール適合外品（高反発クラブ）」「2010年新しい溝の規則に適合外品」を使用することができる。

2. 使用ボール：ワンボール条件は採用しない。

3. その他の規則は2023年日本ゴルフ協会ゴルフ規則に順じて運用する。

4. 距離計測機器の使用（規則4.3a(1)）

距離計測機器（レーザー距離測定器、携帯ナビ使用可※距離のみを測定するもの）の使用を認める。プレーヤーは距離のみを計測する機器を使用することができる。しかし、他の条件(例えば、標高変化、風速、傾斜など)を計測するために距離計測機器を使用した場合、プレーヤーは規則4-3の違反となり、2罰打。その後、さらに同じ違反（複数回違反）があった場合は、競技失格となる。

※距離計測器が他の条件(例えば、傾斜、風速、気温)を計測できる機能を持っている場合、その機能をOFF（使用できない状態）

にして使用すること。※ 距離計測機器を使用するためにプレーを不当に遅延させてはならない。

5. 練習（規則5.5）

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2罰打を加えなければならない。ただしそのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。但し、ハーフターンでの待ち時間中は指定練習グリーンでのパッティング練習のみ可とする。プレーを終えたばかりのグリーン上で球を転がすことも禁止する。

6. 打順（ダブルス競技部門）

ダブルス選手権において、スタートホールにおいてのティーショットの打順は組み合わせ表どおりとなり、それ以降はその前のホールのスコアの良かったチームがオーナーの権利を持つものとする。チーム内の打順についてはチーム内の任意とすることができる。

7. プレーの中断、プレーの再開（規則5.7）

競技委員会からのアナウンスとする。

8. 不当の遅延；スロープレー（規則5.6）

ラウンド中は常にプレーファーストを心掛けてプレーしなければならない。また、ホールアウト後、次のティーインググラウンドからプレーするまでの間も、プレーを不当に遅らせてはならない。

開催前日及び当日の中止連絡

コースと協議し、中止決定の場合【中止の場合は別開催日をコース様と要調整】

① ウェブサイト及びSNSに掲載

② 選手全員にショートメールで携帯に連絡（アウトートップ小林・清水が担当）

競技の成立について

◆ プレーの中断と再開の合図について

- ◎ 通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。または、本部より競技委員会を通じて競技者に連絡する。
- 陰悪な気象条件による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らし通報。プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報。

◆ スタート時間の遅延及び中断時間による遅延による競技短縮目安について

- ◎ 1時間までの遅延 シミュレーション上 各カテゴリー18ホール終了
- ◎ 2時間までの遅延 ダブルス部門18ホール終了、シングル部門は途中で終了の可能性あり（シングル部門のみ9ホールの短縮競技）
- ◎ 3時間までの遅延 各部門 9ホールの短縮競技を検討
- ◎ 3時間以上の遅延 全部門 短縮競技もしくは競技不成立の可能性あり

◆ オペレーション

- ① 天候調査は大会本部で行い、中断及び競技の短縮の判断を行う
- ② クラブハウスへの避難はキャディマスター室及び巡回スタッフの指示に従う

9H PAR3

HOLE 9 / Par 3の繰り返し。

風を意識したクラブ選択が重要となる。2段グリーンのため、正確な飛距離のショットが要求される。左のバンカーはアゴが高いため要注意。



プレーオフは、シングル選手権（アマ、ジュニア、プロ）のみとする。

男子：214Y

女子：143Y

カップの切り直しは行いません

ローカル・ルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
 2. 修理地は青杭または白線をもってその限界を標示する。
 3. コース内のすべての池及びクリークは、レッドペナルティエリアとし、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。
 4. コース内に設置されたすべての人工の構築物は、動かさない障害物とする。(舗装された道路、排水溝、マンホール、橋、給散水施設、樹木の支柱、階段、固定席、目土容器、表示板、売店設備 等)
 5. 本ルールに定めのない事項は、全て日本ゴルフ協会ゴルフ規則を適用する。
- ※ 備考:本ローカルルールに変更または追加があった場合は、クラブハウス内に掲示して告知する

追加ローカル・ルール

1. 道路に隣接する人工の構築物は道路の一部とする

帯同キャディ各位

- ・各組ハウスキャディが随行致します。（帯同のみを組を除く）
そのキャディは帯同キャディを申請していない選手の担当となります。
- ・進行上のケースもありますが、バンカーならし、ボール拭き、
グリーン上のピンの抜き差し等はハウスキャディに頼らず行動してください。
- ・グリーン上でのライン等、ハウスキャディにアドバイスを求めると、
ペナルティとなりますのでご注意ください。

大会運営を円滑に行うためにも皆様の節度ある行動にご理解、ご協力のほど
宜しくお願い致します。

大会競技委員会

各練習場の使用時間について

12月8日及び9日に関するコース内の各練習場使用時間については以下の通りとなります。

日付	12月8日（月）	12月9日（火）
練習場オープン	ドライビングレンジ <u>7:00 オープン</u> アプローチG、パッティングG <u>7:00 オープン</u>	ドライビングレンジ <u>6:30 オープン</u> アプローチG、パッティングG <u>7:00 オープン</u>
練習場クローズ	ドライビングレンジ <u>15:30 クローズ</u> アプローチG、パッティングG <u>15:30 クローズ</u>	全選手スタート後 ドライビングレンジは クローズ アプローチG、パッティングG <u>15:30 クローズ</u> (競技中のアプローチ練習は不可)

参加選手各位

ドライビングレンジは全選手スタート終了後クローズとなります。
プレーオフの可能性のある選手が利用する場合は、競技委員まで
お声かけください。

プレーオフとなった場合、ハウスキャディを利用している選手は
正規ラウンド時の担当キャディから変わる可能性があります。

大会競技委員会

追加ローカル・ルール

グリーン周辺にある縁取り用の溝

パッティンググリーン周辺にある縁取り用の溝は修理地である。プレーヤーの球が溝の中にあるか触れている場合、あるいはその溝が意図するスイングの障害となる場合、プレーヤーは罰なしの救済を受けることができる。

(ニヤレストポイントを決めて救済エリアにドロップ)。

ただし、溝がスタンスにだけ障害になる場合、救済は認められない。

動かさない障害物

14番ホール左にある緑色の工事用防球ネットは動かさない障害物である。

パッティンググリーンに近接する動かさない障害物 (スプリングラー等)

パッティンググリーンに近接している障害物に対して物理的障害が無かったとしても、下記の条件を満たしていればプレーヤーは規則 16.1bの救済を受けることができる。

- 障害物がプレーの線上にある。
- 球がジェネラルエリアにあり球と障害物の両方がフェアウェイの長さかそれ以下に刈られた区域にある。
- 障害物がパッティンググリーンから2クラブレンジス以内にある。
- 障害物が球から2クラブレンジス以内にある。

例外：プレーヤーがあきらかに不合理なプレーの線を選択する場合、救済は認められない。